

第4学年 音楽科学習指導案

音楽科研究室

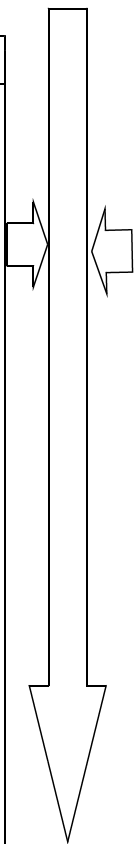
題材名 様子を想ぞうしながらきこう

教材名 「アルルの女 第2組曲から 『ファランドール』」 ビゼー作曲

指導に当たっての基本的な考え方

こ ん な 子 ど も を
<ul style="list-style-type: none"> ○ 音楽活動に意欲的に取り組み、様々な音楽を聴くことが好きである。 ○ 強さや速さに気を付けて音楽を聴くことはできるが、旋律の反復や重なりに気を付けて音楽を聴く経験は浅い。

こんな教材で
<p>教材曲「ファランドール」は、結婚式を祝って踊っている様子を表した劇音楽である。</p> <p>この曲は、2つの主な旋律によって構成されている。</p> <p>はじめに演奏される旋律はどっしりとした感じの旋律で堂々としたおどりを表し、次にでてくる旋律ははずむ感じの旋律で、軽やかなおどりを表している。</p> <p>この2つの旋律が、カノン形式で進行したり、反復したり、重なったりして演奏されることで、にぎやかに踊っている様子を表現している。</p> <p>そのため、この曲は、子どもが2つの旋律の反復や重なりを手がかりに、交代ごうたいになったり同時になったりしてにぎやかに踊っている様子を想像しながら聴くことに適した教材曲である。</p>



こんな支援で
<ul style="list-style-type: none"> ○ 2つの旋律を口ずさませることによって、おどりの感じの違いが分かるようにする。 ○ 2つの旋律を「王様のおどり」と「家来のおどり」として捉え、それぞれのおどりを表した絵を提示することで、2つの旋律が視覚的に分かるようにする。 ○ 身体反応をさせることで、2つのおどりの様子の違いを想像できるようにする。 ○ 2つのおどりを表すペープサートを準備し、それぞれのおどりがでてきたところでペープサートを挙げさせることによって、交代ごうたいに踊ったり同時に踊ったりしている様子を想像することができるようにする。 ○ 2つの旋律をグループに分けて身体反応をさせることによって、にぎやかなおどりの様子を想像することができるようにする。

こ ん な 子 ど も に
<ul style="list-style-type: none"> ○ 進んで王様と家来が踊る様子を想像しながら聴こうとしている。 (関心・意欲・態度) ○ 王様と家来がにぎやかに踊る様子を、2つの旋律の反復や重なりをもとに聴くことができる。 (鑑賞の能力)

段階	配時	主 な 内 容
導入	1	○ 進んで2つのおどりの様子を想像しながら聴くこと
展開	(本時)	○ 2つの旋律の反復や重なりをもとに、にぎやかなおどりの様子を想像しながら聴くこと
終末		○

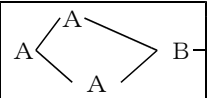
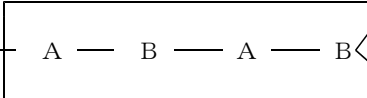

◇ 本時の目標

- 進んで王様と家来が踊る様子を想像しながら聴こうとしている。(関心・意欲・態度)
- 王様と家来がにぎやかに踊る様子を、2つの旋律の反復や重なりをもとに聴くことができる。(鑑賞の能力)

◇ 準備

- ・CD ・MD ・オーディオプレーヤー ・王様と家来の絵 ・ペープサート ・ふりかえりプリント

◇ 展開

学習活動と内容	支援	評価規準
<p>1 曲の場面を知り、めあてをつかむ。</p> <p>(1) 曲の場面を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ お城で結婚式をお祝いするおどりを踊っている場面であること ○ いろいろなおどりが踊られていること <p>(2) 結婚式のおどりがどんなおどりをかを想像する。 (明るい、にぎやか、楽しい など)</p> <p>(3) めあてをつかむ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> どんなおどりをおどっているか、想ぞうしながらきこう </div> <p>2 旋律をもとに、おどりの様子を想像しながら聴く。</p> <p>(1) おどりの種類を考えながら聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 2つのおどりがあること <p>(2) 2つのおどりが、どんな感じのおどりをかを想像しながら聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ A：堂々とした感じのおどりであること ○ B：明るく、はずむような感じのおどりであること <p>(3) 2つのおどりは誰が踊っているのかを想像する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ A：王様が踊っていること ○ B：家来が踊っていること <p>(4) 身体反応をしながら聴く。</p> <p>3 2つの旋律の反復や重なりをもとに、どんな踊り方をしているかを想像しながら聴く。</p> <p>(1) 曲全体を聴く。</p> <p>(2) どんな踊り方をしているのかを想像しながら聴く。</p> <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  </div> </div> <p>(それぞれが踊る) (交代ごうたいに踊る) (同時に踊る)</p> <p>(追いかっこ)</p> <p>(3) 身体反応をしながら聴く。</p> <p>4 本時の学習のまとめをし、全体を通して聴く。</p> <p>(1) 本時の学習のまとめをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 王様と家来のおどりが交代ごうたいになったり、同時になったりしながら、にぎやかに踊っている様子を聴いたこと <p>(2) 全体を通して聴く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2つの旋律を口ずさませることによって、おどりの感じの違いが分かるようにする。 ○ 2つの旋律を「王様のおどり」と「家来のおどり」とし、それぞれの踊りを表した絵を提示することで、2つの旋律が視覚的に分かるようにする。 ○ 身体反応をさせることで、2つのおどりの様子のちがいを想像することができるようにする。 ○ 2つのおどりを表すペープサートを挙げさせることによって、交代ごうたいに踊ったり同時に踊ったりしている様子を想像することができるようにする。 ○ 2つのグループに分けて身体反応をさせることによって、にぎやかなおどりの様子を想像することができるようにする。 ○ ペープサートを挙げさせたり、身体反応をさせたりすることで、曲に浸ってきくことができるようにする。 	<p>進んで王様と家来が踊る様子を想像しながら聴こうとしている。(関心・意欲・態度)</p> <p>2つの旋律を手がかりにして、にぎやかなおどりの様子を想像しながら聴くことができる。(鑑賞の能力)</p>